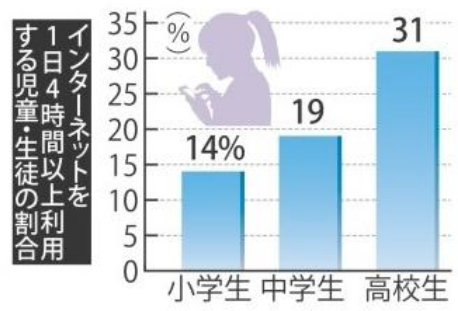


普段からイライラ、睡眠障害…



スマートフォン（スマホ）の長時間利用など「ネット依存」の疑いのある小中高生の割合が、兵庫県内で6.4%だったことが県の初めての調査で分かった。高校生が8.3%と最も高く、1日4時間以上利用する割合も31%に上る。睡眠障害などの健康被害につながる恐れ、専門家は注意を呼び掛けている。

（斎藤正生）

4時間以上は31% 小学生も14%に

ネット依存 県内高校生8.3%

調査は小中高生2881人を対象に、県青少年課が7～8月にアンケート方式で実施した。

「使用時間を短くしたり完全にやめようとしたりすると不機嫌やイライラなどを感じる」「熱中しすぎを隠すためにうそをついたことがある」など8項目を尋ね、5項目以上の該当者を「依存傾向」とした。中学生は6.6%、小学生は1.4%。学年が上がるほど高い割合を示した。高校生の依存傾向者のほぼ8割は女子だった。

1日4時間以上の利用者も、中学生19%、小学生14%と、高校生が突出して高い。依存傾向者では、48%と約半数に上った。

普段から「イライラ」「使用時間が短くしたり完全にやめようとしたりすると不機嫌やイライラなどを感じる」「熱中しすぎを隠すためにうそをついたことがある」など8項目を尋ね、5項目以上の該当者を「依存傾向」とした。中学生は6.6%、小学生は1.4%。学年が上がるほど高い割合を示した。高校生の依存傾向者のほぼ8割は女子だった。

一方、約4割の子どもが、保護者とネット利用のルール作りをしていると回答。スマホなどのネット利用を規制する「フィルタリング」については全体の

兵庫県立大環境人間学部の竹内和雄准教授（生徒指導論）の話

家族との会話や読書などの時間がスマホに取って代わり、隙間の時間、もゲームやラインで埋められれば、何

スマホ利用 親子で学んで

となく何かを考えると、気付かないまま依存が進行している。子ども同士で対策などを話し合う機会をつくり、その上で大人と子どもが一緒に考えることが大事だ。

9日午後2時から、姫路市北条口3の市立総合教育センターで、専門家を招いたネット依存防止対策セミナーがある。無料。回線8078・3662・3142

- ① この調査で、スマートフォン（スマホ）の長時間利用など「ネット依存」の疑いのある小中高生の割合を答えましょう。
- ② この調査で、1日4時間以上利用する割合についても、答えましょう。
- ③ この調査で、ネット依存傾向のある人のおよそ何%が、普段からイライラすることがあると答えていますか？
- ④ 兵庫県立大の竹内和雄准教授の話を読んで思ったことも入れて、記事の感想を書きましょ。

小	中	高
[] %	[] %	[] %
小	中	高
[] %	[] %	[] %

名前 【 _____ 】

NIEワークシート／小学高学年～高校
／情報、総合、朝NIE